

間質肺炎で入院患者における、入院時 SpO2/FiO2 比と経口摂取量との関連についての検討 の研究について

この度海老名総合病院栄養科では入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施させていただきます。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護について法令等を遵守し研究を行わせて頂きます。

試料・情報について、本研究への利用をのぞまれない場合は以下担当医師にご連絡ください。

1. 研究目的

間質性肺炎で入院となった患者は呼吸苦を強く訴え食事摂取量が低下する事が多い。また、経口からの食事摂取量が確保できず入院前にいたところに戻れないことが多い。特発性肺繊維症においては、診断時の栄養不良、食事摂取量の低下は、入院および死亡率の増加と関連しているとの報告もあり、より早期に栄養評価を行うことが必要となる。そのため、入院時の SpO2/FiO2 比により、経口摂取開始時、退院時の食事摂取量の必要栄養量に対する充足率との関係を明らかにし、臨床判断の一助とすること

2. 研究方法

1) 研究対象

2023 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに海老名総合病院に間質性肺炎のため入院し、経口摂取を開始した患者

2) 実施期間

2023 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日

3) 研究方法

調査方法は電子カルテ内の診療録から情報取得

4) 研究成果の公表

3. 試料・情報

主病名、入院日、退院日、年齢、性別、身長、体重、BMI、経口摂取開始日、経口摂取開始までの日数、入院時食事摂取量・内容、退院時食事摂取量・内容、必要栄養量に対する充足率、入院時酸投与量、入院時酸素飽和度、入院時 SpO2/FiO2 比、酸素投与デバイス、入院前にいたところ、退院時転帰、入院時栄養スクリーニング結果

4. 外部への試料・情報の提供

個人が特定できる情報(氏名、住所、生年月日など)は除外した形でデータ集積を行います。

データの紛失・改ざん・漏洩などを防ぐためデータベースへのアクセスは ID・パスワード等、適切に管理しています。

収集した匿名化データは海外含む学術研究施設に提供されますが、診療の質評価および研究目的以外には使用致しません。研究成果は個人が特定できないような形で発表を行います。

5. 本研究責任者およびお問合せ先

本研究にご質問がありましたら下記の連絡先までお問合せください。お申し出によりそれ以降の分析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済の研究結果からの削除は出来ない場合がありますのでご承知くださいますようお願い致します。

施設名 : 海老名総合病院

住所 : 神奈川県海老名市中央 4 丁目 16-1

電話 : 046-233-1311

研究責任者 : 栄養科 大橋 由奈